

# 大谷學報

第90巻 第1号

2010年10月20日発行

悲歌慷慨……………乾 源俊 (1)

二〇一〇年度 春季公開講演会 講演録  
倫理の場所……………池上哲司 (19)

二〇〇九年度  
修士論文・卒業論文・卒業研究題目一覧…………… (35)  
彙 報…………… (65)

学位論文審査要旨…………… (70)

アメリカにおける  
図書館職員の要件と資格……………山本貴子 (49)

大城善盛  
漢那憲治  
中島幸子

大岡昇平と太宰治……………芦津かおり (30)  
—それぞれの『ハムレット』、それぞれのシェイクスピア

保育者として

卒業した人たちの動向と実態……………徳岡博巳 (1)  
—卒業生調査から見える養成教育の課題—

大 谷 大 学

大 谷 学 会

大谷学報 第八十九卷 第一号

妙立慈山『答作智信女』について…… 藤谷昌紀  
詩教育觀から見た三好達治…………… 國中 治

二〇〇九年度 春季公開講演会 講演録  
真宗と教育…………… 水島見一

——清沢満之の「独尊子」について——  
死んでゆく不思議・  
生まれてくる不思議…………… 西平 直  
——子どもたちにどう伝えるか——

二〇〇八年度  
修士論文・卒業論文・卒業研究題目一覧  
彙 報

学位論文審査要旨

可死の神…… デッケル・コルニル アルブレヒト  
トマス・ホップズ『リヴァイアサン』の表紙絵を読  
み解く  
ことばにおける声と意味…………… 矢野のり子  
——ジャルゴンをめぐる——

大谷学報 第八十九卷 第二号

信の仏教の系譜…………… 井上尚実

『スッタニパータ』『アーラーヴァカ経』と  
「ヴァンギーサ経」に描かれる「信」の原風景

法然門下における「弘願一乗」の究明と

親鸞の「一乗海釈」…………… 藤元雅文  
——「論書」としての『教行信証』への一視座——

彙 報

学位論文審査要旨

二〇〇九年度 研究発表会 発表要旨

〈底〉から〈的〉への

交代状況からわかること…………… 渡部 洋

世界遺産エルデニゾー寺院（モンゴル国）で

再発見された漢モ対訳

『勅賜興元閣碑』断片…………… 松川 節

# THE OTANI GAKUHO

( THE JOURNAL OF  
BUDDHIST STUDIES AND HUMANITIES )

## CONTENTS

### Articles:

- A trend and the actual situation of the people  
who graduated as child care worker ..... TOKUOKA Hiromi ( 1 )  
——A problem of the training education to be able to see  
from graduate investigation——

- Two *Hamlets*, Two Shakespeares: ..... ASHIZU Kaori ( 30 )  
Adaptations by Shohei Ooka and Osamu Dazai

- Library Personnel: ..... YAMAMOTO Takako ( 49 )  
Their Requirements and Qualification in the U.S. OSHIRO Zensei  
KANNA Kenji  
NAKAJIMA Sachiko

- Examination Report of Theses Presented  
for the Degree of Doctor of Literature ..... ( 70 )

- Titles of Theses Presented for MA and BA Degrees,  
2009 Academic Year ..... ( 35 )

### Résumés of Papers Presented at the Otani Public Lecture, Spring 2010

- Die Grenze der Ethik ..... IKEGAMI Tetsuji ( 19 )

### Articles:

- A Study of Lamentation in  
Songs of Han Gao-Zu and Xiang Yu ..... INUI Mototoshi ( 1 )

### Miscellaneous:

PUBLISHED FOR THE OTANI SOCIETY  
OTANI UNIVERSITY  
KYOTO, JAPAN

# 大谷学会規程

## (設置)

第1条 大谷大学（大谷大学大学院、大谷大学短期大学部を含む。以下「本学」という。）に大谷学会（以下「本会」という。）を置く。

## (目的)

第2条 本会は、本学の学術研究の推進と、その成果の公開を目的とする。

## (事業)

第3条 本会は前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 「大谷学報」の発行
- (2) 「大谷大学研究年報」の発行
- (3) 研究会及び公開講演会の開催
- (4) その他必要な事業

## (会員)

第4条 本会は本学の教育職員（専任職員及び契約職員）及び学生をもって会員とする。

- 2 前項のほか、本会の趣旨に賛同し、役員会において承認された者は、会員となることができる。

## (役員)

第5条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長
- (2) 副会長
- (3) 委員
- (4) 監事

第6条 会長には大谷大学長が当たり、本会を代表する。

第6条の2 副会長には学監・文学部長が当たり、会務を統理する。

2 副会長は、第3条第1号及び第2号の編集兼発行者となる。

第7条 委員は10名とし、教授会において互選

する。

2 委員は、企画、編集、出版等の会務に当たる。

3 委員の任期は、2年とする。ただし、再任をさまたげない。

第7条の2 会務を円滑に遂行するため、庶務を置くことができる。

第8条 庶務は本会委員の中から会長が委嘱する。2 監事は、2名とし、教授会において互選する。任期は2年とする。

第9条 監事は、本会の会計を監査する。

## (研究発表等)

第9条 会員は、本会の出版物にその研究を発表し、「大谷学報」及び「大谷大学研究年報」の配布を受け、本会主催の会合に出席することができる。

## (会費)

第10条 会員の会費は、年額四〇〇〇円とする。ただし、学生会員は二〇〇〇円とする。

## (運営経費)

第11条 本会の経費は、会費をもってこれに当てる。

2 本会の必要経費については、助成金を受けることができる。

## (事務所管)

第12条 本会の事務は、教育研究支援部教育研究支援課の所管とする。

## (規程改正)

第13条 この規程の改正には、教授会の議を経なければならない。

付則

1 この規程は、一九八一年四月一日から施行する。

2 一九六二年四月一日施行の「大谷学会会則」はこれを廃止する。

## （大谷学会委員）

加来 雄之 加藤 丈雄  
國中 治 番場 寛  
東館 紹見 三木 彰  
三宅伸一郎 山内 清郎  
脇中 洋 晃

大谷学報第九十巻第一号  
二〇一〇平成二十二年十月二十日発行

編集兼 大谷学会  
発行者 門脇 健

発行所 大谷学会

〒618-8414 京都市北区小山上総町  
大谷大学内

☎ (〇七五) 四一八一五八(直)  
振替 〇一四〇〇七一八三九三番

印刷者 中西隆太郎

### 学生会員 投稿規程

1. 本学会学生会員で、『大谷学報』に論文の掲載を希望するものは、指導教員の推薦状を添えて投稿できる（一六〇〇〇字以内とする）。
2. 投稿された論文は、審査を経て採否が決定される。
3. 論文の審査は、編集委員および編集委員が選任委嘱する審査委員（若干名）によって行われる。
4. 審査の結果は左記の通りとし、②③の場合には、投稿者にその理由を通知する。
  - ①採用
  - ②条件付き採用（修正がなされた場合採用）
  - ③不採用
5. この規程は、『大谷学報』第八十九卷第一号より適用される。